

年間指導計画(運動)

健康・生活・運動・感覚・認知・行動

指導 時期	教材名 (主題・内容項目)	時間 (1回による療 育の時間)	ねらい	主な活動	評価(育てたい児童の姿)
4~5月	楽しく運動	30	姿勢と運動・動作の基本的技能	風船バレー、サーキットトレーニング、動画を観ての体幹トレーニング等を児童が興味を持てるように工夫して実施 ※ キャラクターの動画等を使うとよい	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢、下肢の運動
6~9月	体幹トレーニング	30	姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用		関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持、強化を図る
10~12	指先訓練 持久力訓練	30	日常生活に必要な基本動作	指先の運動や片足立ち等日々の生活の中で使われる部位の強化のための運動	身辺処理及び書字、描画等の学習のための基本動作を身につけることができるようにする
1~3	指先訓練 持久力訓練	30	身体の移動能力 作業に必要な動作と円滑な遂行	ジャンケン等を指先を使ったゲームを実施 ジャンケン開脚や叩いてかぶってジャンケン(アレンジ)等	作業に必要な基本動作を習得し、その巧緻性や持続性の向上を図り作業を遂行する能力を高める

年間指導計画(ゆたかタイム<SST>)

認知・行動・言語・コミュニケーション・人間関係・社会性

指導 時期	教材名 (主題・内容項目)	時間 (1回による療 育の時間)	ねらい	主な活動	評価(育てたい児童の姿)
4~5月	楽しく コミュニケーション	30	他者とのかかわりの基礎 コミュニケーションの基礎的能 力	【共通】自己紹介ゲームや整列ゲーム会話をメインにしたコミュニケーションゲームを実施	人に対する基本的な信頼感を持ち、他者からの働きかけを受け止め、それに応ずることができるようにする
6~9月	相手の意図を 考えよう	30	他者の意図や感情の理解 言語の受容と表出	【共通】ロールプレイ、「私は誰でしょうゲーム」等を集団ゲームとして実施	他者の意図や感情を理解し、場に応じた適切な行動、発言を取ることができるようにする
10~12	発言・行動の ふりかえり	30	自己の理解と行動の調整 言語の形成と活用	【共通】「嬉しいこと、悲しいこと探し」、「こんな時どうする」自分の体験から嬉しかったこと、悲しかったこと、どうすれば良かったのか分からなかったことを共有	コミュニケーションを通して事物や現象、事故の行動に対して体系的な言語を身につける
1~3	こんな時どうする？	30	集団への参加の基礎 状況の理解と変化への対応 状況に応じたコミュニケーション	【共通】実際に起こりうる場面、体験した場面のロールプレイ、グループで演じ考える	場所や場面の状況を理解して心理的抵抗を軽減したり、変化する状況を理解して適切に対応したりするなど、行動の仕方を身につけること

年間指導計画(パソコン & English)

認知・行動・言語・コミュニケーション・人間関係・社会性

指導 時期	教材名 (主題・内容項目)	時間 (1回による療 育の時間)	ねらい	主な活動	評価(育てたい児童の姿)
4~5月	パソコンを使ってみよう	30	パソコンに触れてみる 興味関心を育む	【低学年】パソコンに触れてみる、ペイントや塗り絵マウス練習ソフト等を使用する 【高学年】興味関心のあることがれについて調べてみる	パソコンに対しての苦手意識を無くす パソコンの楽しさ、利便性を知る
6~9月	ローマ字練習	30	保有する感覚の活用 感覚の補助及び代行手段の活用	【共通】パソコンを使いローマ字で好きなものを調べる 英語にて簡単な挨拶等の動画鑑賞	英語に興味を持ち身近なものにする
10~12	ローマ字練習	30	保有する感覚の活用 感覚の補助及び代行手段の活用	【共通】パソコンを使用してのポスター作り 英語の動画鑑賞	自分の苦手なものをほかの部分で補えるようにする 視覚、聴覚自分の優位な器官を活かしたコミュニケーションの展開
1~3	プログラミング	30	感覚や認知の特性への対応	【低学年】知育ソフト等簡単なソフトの使用 【上級生】プログラミングソフトを使用	自分に入ってくる情報を適切に処理できるようにする

年間指導計画(レンジャータイム)

運動・感覚・認知・行動・言語・コミュニケーション

指導 時期	教材名 (主題・内容項目)	時間 (1回による療 育の時間)	ねらい	主な活動	評価(育てたい児童の姿)
4~5月	グループゲーム (2~3人)	30	他者とのかかわりの基礎 集団への参加の基礎	【共通】風船バレー等で何回出来たらクリアなど勝敗を無くしたゲームをし他者と協力しながらできるゲームを行う	他者と協力し成し遂げる楽しさや喜びを知る
6~9月	グループゲーム (2~3人)	30	コミュニケーションの基礎的能力	【共通】伝言ゲームや、ジェスチャーゲーム、お絵かきしりとり等、表情や身振り意思疎通に重点を置いたゲームを実施	グループでの協力、皆で楽しく遊ぶ。 身振りや言葉、文字など様々な手段におけるコミュニケーションの基礎的な能力の獲得
10~12	集団ゲーム (全員参加型)	30	言語の受容と表出 他者の意図や感情の理解	【共通】クイズ形式の活動など進行役と回答者側とで別れられる活動をおこなう	自分の考えている事、思いを相手に分かりやすく伝えることができる 相手の伝えたいことをくみ取ることができる
1~3	集団ゲーム (全員参加型)	30	他者の意見の尊重	【共通】ジェスチャーゲーム等を他者の発言や行動をみて考えるゲームを行う	他者の考える事を自分でも考える。自分ならどうするのかまで考える

年間指導計画(かきかた)

言語・コミュニケーション・人間関係・社会性

指導 時期	教材名 (主題・内容項目)	時間 (1回による療 育の時間)	ねらい	主な活動	評価(育てたい児童の姿)
4~5月	運筆練習	30	字を書く際の正しい姿勢や集中力の獲得	【低学年】迷路プリントや塗り絵等遊び感覚できるものから始め、座って書き物を行う。 【高学年】興味のあるプリントや持参の宿題を時間を設定し取り組む	字や鉛筆を持つことに抵抗を無くす 書き物を行う際の正しい姿勢や集中力を身に着ける
6~9月	運筆練習	30	直線や曲線を正確に書けるようになる 短時間でも活動に集中取り組めるようになる	【低学年】運筆プリントや迷路プリントを練習する。 児童が解ける簡単なものから行い抵抗が生まれないようにする 【高学年】字止め跳ねはらいといった点に注意しながら意識して書く	字を書く上での基礎的な筆圧や直線、曲線の上達 自分の目標を立て集中して取り組める達成感、自信を獲得
10~12	筆を使おう	30	丁寧に書くことを心掛ける	【共通】筆を使い一文字一文字丁寧に書くことを意識する 字が難しい場合は筆を使用し絵を描いたり塗り絵を行う	文字を描く際に丁寧に書くことを心掛けるようになる 自身の上達からの自身の獲得
1~3	自己紹介カード ポスター作り	30	書くものに対しての字の大きさやバランスを考えて書けるようになる	【共通】自己紹介カード、ポスター作り 【低学年】字や絵の大きさ、バランスを考え書く 【高学年】枠から大きさやバランスを考え作成する	全体をみての判断力 見通しを立てる力を養う

年間指導計画(サイエンス)

認知・行動・言語・コミュニケーション

指導 時期	教材名 (主題・内容項目)	時間 (1回による療 育の時間)	ねらい	主な活動	評価(育てたい児童の姿)
4~5月	実験ってなに？	30	食物や物質等の変化を楽しむ 興味、探求心を育む	【共通】簡単な実験を行い、児童が楽しめる内容を優先した活動をおこなう。 【高学年】役割を与え	実験に対して楽しいというイメージを持ってもらう。 もっと知りたいやってみたいという探求心を養う 集団の中における役割の確立、責任感を持つ
6~9月	実験結果を予想してみよう	30	探求心を育む 自分なりの考えを持つ 認知や行動の手がかりとなる概念の形成	【共通】実験を通して何故を考える ※指導員より発問を行う	実験を通して何故、どおしてを考える。もの、形、色、音が変化する様子、空間、時間等の概念の形成をはかることにより、認知や行動の手がかりとして活用できるようにする
10~12		30	予測する力を養う 保有する感覚の活用	【共通】簡単な実験から始め予測を行う 【高学年】予測と異なった場合の考察、なぜこうならなかったのかどの様にすれば良かったのかを考える	視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用し物事に対して予測する力を養う。 予測することを私生活の中で生かせるようにする
1~3	皆で考えてみよう	30	言語の受容と表出 他者の意見を考える	【共通】実験を行い、それぞれの考えの発表の場を設ける。 【高学年】他者の意見を聞いてみての考え、感想	自分の考えを他者に伝えられようにする 周りの考えを聞くことで、自分とは異なった考え方があることを知る

年間指導計画(工作)

認知・行動・言語・コミュニケーション

指導 時期	教材名 (主題・内容項目)	時間 (1回による療 育の時間)	ねらい	主な活動	評価(育てたい児童の姿)
4~5月	作ってみよう	30	簡単な玩具の作成を行い、達成感や作る事への楽しみ興味を持つ	自由制作 材料を用意した簡単な組み立て	作る事への楽しみ、達成感 表現豊かな感性を育む
6~9月	切って貼ろう	30	日常生活に必要な基本動作	【低学年】 貼り絵、絵の具を使用したお絵かきなど文房具を使用した簡単活動 【上級生】 より細かい作業、精密性を強めたないよう、カッターや紙やすり日曜工具の使用に挑戦	ハサミや工具類の安全な使用法 糊や絵の具などの適量の見定められるように
10~12	作ったものを展示 発表会をしてみよう	30	コミュニケーションの基礎的能力 状況に応じたコミュニケーション 他者の尊重	【共通】 ハサミや糊といった数が決められたものに対して順番や譲り合得るような働きかけ	集団の中でのルール、他者への思いやりを育む
1~3	皆で作ろう	30	集団活動での自己表現 作業に必要な動作と円滑な遂行	【共通】 壁面工作やポスター作りなどグループで一つの作品を作り上げる 【高学年】 作業の進捗を判断し周りのサポートができるように指導員より促す。	集団の中においてもしっかりと自分の意見を表出できるようにする 周りの状況を見て判断ができるようになる

年間指導計画(レゴ)

認知・行動・言語・コミュニケーション

指導 時期	教材名 (主題・内容項目)	時間 (1回による療 育の時間)	ねらい	主な活動	評価(育てたい児童の姿)
4~5月	レゴで遊ぼう	30	他利用者とのかかわりを持つ グループの中でのルールを学ぶ	自分の好きな作品を作る	数に限りある中での決められたものでの表 現
6~9月	手順書を見て作ろう	30	保有する感覚の活用 感覚を総合的に活用した周囲の 状況把握 コミュニケーションの基礎的能 力	【上級生】手順書を見てできる限り自力で 作成する。難しい児童に対してアドバイス	読み解く力を養いつつ、困っている児童へ のアプローチができるようになる
10~1				【低学年】手順書を見ながらできる範囲で 作成する。指導員は苦手意識がつかないよ うに、つまづいてしまった場合はサポート に入る。	読み解く力を養う 作 る事への興味関心を養う。
2~3	作品発表会	30	自分の考えや思いの表出 コミュニケーションの手段の選 択と活用	事由に作品を作り、何を作ったか、どう いったものなのか発表会をお行う。 作成が困難な児童の場合は既存の手順書の 中から選び組み立てる。	自分の考えを他者に伝えられるように 場や相手状況に応じて主体的なコミュニ ケーションを展開できるようになる

年間指導計画(クッキング)

健康・生活・言語・コミュニケーション

指導 時期	教材名 (主題・内容項目)	時間 (1回による療 育の時間)	ねらい	主な活動	評価(育てたい児童の姿)
4~5月	自分で作ったものを 食べよう	30分~ 60分	食、作る事に興味をもつ 自分で作ったものを食べる 衛生管理 日常生活に必要な基本動作	【低学年】簡単な作業から行い、一部でも 参加する 【高学 年】手順書を読み作業を進める	自分で作る楽しみや達成感、自信の獲得
6~9月	食べる意味って? 加熱器具の安全な使い方	30分~ 60分	調理器具の安全な使用方法 加熱、冷却による食品の変化 食事の役割を学ぶ 生活のリズムや生活習慣の形成	【共通】茹でる、焼く、蒸す、煮る、冷や す、固める様々な調理法を体験する 【高学年】加熱器具(IH)を使った調理を行 う	食事が何からどう作られているのか工程を 学び自宅での手伝いのきっかけ作り 食事の役割を知り食べられるものを増やす
10~12	食べ物を3色に分けよう 刃物の安全使い方	30分~ 60分	調理器具の安全な使用方法 栄養に関して考察 健康状態の維持、改善	【低学年】キッチンバサミを用いて食材を 切る 【高学 年】包丁やピーラーを使用し食材を切る。 【共通】栄養の基礎的な三色群について	刃物の安全な使用法を学び自宅での手伝い のきっかけ作り 食事におけるバランスの重要性を学び食 からの健康への意識を持つ
1~3	お昼ご飯を作ろう	30分~ 60分	生活のリズムや生活習慣の形成 健康状態の維持、改善 日常生活に必要な基本動作	【共通】これまでの活動の復習をしながら 食事やおやつ作りを行う 食分の献立を考え作る	食事を自分で作ったとことの達成感、自信 の獲得 生きる力、自立心を養う

リトルキャンプ青葉台の目標

関わる全ての人々の笑顔と幸せ



療育の重点目標

- ・ 自立支援と日常の充実のための活動
- ・ 創作活動
- ・ 地域交流の機会の提供
- ・ 余暇の提供



療育の指導方針

- ・ 楽しいを前提に資料の選択、活用の工夫
- ・ 豊かな体験と関連付けた指導の工夫
- ・ 児童の自発的な意欲の尊重

各プログラムおける目標

クッキング	調理器具の安全な使用方法から食事の役割、大切さを学び、自宅において食事作りの補助、調理ができるようになる	書き方	字を書く上で必要な基礎的な能力の獲得 正しい姿勢や集中力を養う
ゆたかタイム	SST(ソーシャルスキルトレーニング) 日常生活の中で発生しやすい人間関係の場面、適切なコミュニケーションを習得し日々の生活を円滑なものにする	レタージュ	グループ活動の中での基礎的なコミュニケーションの習得 グループにおける場や相手の状況に応じて主体的なコミュニケーションを展開出来るようにする
レゴ	手順を見ながらの作成、自由な作成より読み取る力、自由な想像力を養う	運動	体幹トレーニングや指先訓練、日常生活において必要な身体能力の向上
パソコン英語	新たなコミュニケーションツールの開拓 英語を身近なものにしコミュニケーションの幅を広げる	工作	作業に必要な基本動作を習得し、その巧緻性や持続性の向上を図るとともに、作業を円滑に遂行する能力を高める
サイエンス	視覚、聴覚、嗅覚、感覚を使い予測する力を養いながら探究心を養う		

総合支援型

現行のガイドラインにある4つの基本活動

・自立支援と日常の充実のための活動

子どもの発達に応じて必要となる**基本的日常生活動作**や**自立生活**を支援するための活動を行う。子どもが意欲的に関われるような遊びを通して、成功体験の積み増しを促し、**自己肯定感**を育めるようにする。将来の自立や地域生活を見据えた活動を行う場合には、子どもが通う学校で行われている教育活動を踏まえ、方針や役割分担等を共有できるように学校との連携を図りながら支援を行う。

・創作活動

創作活動では、**表現する喜び**を体験できるようにする。日頃からできるだけ自然に触れる機会を設け、季節の変化に興味を持てるようにする等、**豊かな感性**を培う。

・地域交流の機会の提供

障害があるがゆえに子どもの社会生活や経験の範囲が制限されてしまわないように、子どもの**社会経験**の幅を広げていく。他の社会福祉事業や地域において放課後等に行われている多様な学習・体験・交流活動等との連携、ボランティアの受入れ等により、積極的に地域との交流を図っていく。

・余暇の提供

子どもが望む遊びや**自分自身をリラックス**させる練習等の諸活動を自己選択して取り組む経験を積んでいくために、多彩な活動プログラム4を用意し、ゆったりとした雰囲気の中で行えるように工夫する。

障がいの5領域

健康・生活

運動・感覚

認知・行動

言語・コミュニケーション

人間関係・社会性